

## 主日礼拝

2023 年 10 月 01 日  
午前 10 時 30 分前奏 「今、装いせよ、暗き罪をぬぎ(75)」  
(J.S.バッハ)

参集 (報告・紹介・予定)

## 招詞

「主よ、御もとに身を寄せます。  
とこしえに恥に落とすことなく  
恵みの御業によって助け、逃れさせてください。  
あなたの耳をわたしに傾け、お救いください。  
常に身を避けるための住まい、岩となり  
わたしを救おうと定めてください。  
あなたはわたしの大岩、わたしの砦。」  
(詩編 71:1~3)

## 頌栄 26「グロリア」

グロリア グロリア グロリア ちちとみ子に  
グロリア グロリア グロリア せいなる霊に

## 信仰告白 使徒信条

われ 天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我は  
その独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生れ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架に  
つけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に  
死人のうちよりよみがへり、天に昇り、全能の父なる  
神の右に坐したまへり、かしこより来りて、生ける  
者と死ねる者とを審きたまはん。我は聖霊を信  
ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、罪の赦し、  
身体のよみがへり、永遠の生命を信ず。アーメン。

## 祈祷

## 献金

## 主の祈り

天にまします我らの父よ、  
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。

み国を来らせたまえ。  
みこころの天になるごとく  
地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、  
我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、  
悪より救い出したまえ。  
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの  
なればなり。  
アーメン。

## 賛美 32「キリエ・エレイソン」

キリエ エレイソン キリエ エレイソン  
しゅよあわれみを しゅよあわれみを  
キリエ エレイソン  
しゅよあわれみ

キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン  
主よ、あわれみを 主よ、あわれみを 主よ、あわれみを

## 聖書 ルカによる福音書 16:19~31

新約(新共同訳)P141~P142

19「ある金持ちがいた。いつも紫の衣や柔らかい麻布を着て、毎日ぜいたくに遊び暮らしていた。20この金持ちの門前に、ラザロというできものだらけの貧しい人が横たわり、21その食卓から落ちる物で腹を満たしたいものだと思っていた。犬もやって来ては、そのできものをなめた。22やがて、この貧しい人は死んで、天使たちによって宴席にいるアブラハムのすぐそばに連れて行かれた。金持ちも死んで葬られた。23そして、金持ちは陰府でさいなまれながら目を上げると、宴席でアブラハムとそのすぐそばにいるラザロとが、はるかかなたに見えた。24そこで、大声で言った。『父アブラハムよ、わたしを憐れんでください。ラザロをよこして、指先を水に浸し、わたしの舌を冷やさせてください。わたしはこの炎の中でもだえ苦しんでいます。』25しかし、アブラハムは言った。『子よ、思い出してみるがよい。お前は生きている間に良いものをもらっていたが、ラザロは反対に悪いものをもらっていた。今は、ここで彼は慰められ、お前はもだえ苦しむのだ。26そればかりか、わたしたちとお前たちの間には大きな淵があって、ここからお前たちの方へ渡ろうとしてもできないし、そこからわたしたちの方に越えて来ることもしない。』27金持ちは言った。『父よ、ではお願いします。わたしの父

親の家にラザロを遣わしてください。28わたしには兄弟が五人います。あの者たちまで、こんな苦しい場所に来ることのないように、よく言い聞かせてください。』29しかし、アブラハムは言った。『お前の兄弟たちにはモーセと預言者がいる。彼らに耳を傾けるがよい。』30金持ちは言った。『いいえ、父アブラハムよ、もし、死んだ者の中からだれかが兄弟のところに行ってやれば、悔い改めるでしょう。』31アブラハムは言った。『もし、モーセと預言者に耳を傾けないのなら、たとえ死者の中から生き返る者があっても、その言うことを聞き入れはしないだろう。』」

## 賛美 486 「飢えている人と」

Brich mit den Hungrigen dein Brot  
詞：Friedrich K. Barth, 1938-

BRICH MIT DEN HUNGRIGEN DEIN BROT  
曲：Peter Janssens, 1938-



1 う えて いる ひ と と パ ン を わ か ち あ お う。  
2 ち ん も く す る ひ と と も に か た り あ お う。  
3 か な し み の ひ と と こ え あ わ せ う た お う。  
4 と も の な い ひ と と と な り び と に な ろ う。  
5 む き り よ く な ひ と も く て き み い だ そ う。

1~5 愛におしだされて 主のあとにつづこう。

- 1 飢えている人と パンを分かちあおう。 愛に押しだされて 主の後に続こう。  
2 沈黙する人と 共に語りあおう。 愛に押しだされて 主の後に続こう。  
3 悲しみの人と 声合わせ歌おう。 愛に押しだされて 主の後に続こう。  
4 友のない人と 隣り人になろう。 愛に押しだされて 主の後に続こう。  
5 無気力な人と 目的みいだそう。 愛に押しだされて 主の後に続こう。

## 説教 「富の支配からの解放」

## 聖餐式

## 賛美 81-1 「主の食卓を囲み」

詞：新編正歌、1938-

MARANA THA  
曲：新編正歌、1938-



1 主のしよくたくをかこみ、いのちのパンをいただき、  
すくいのみをのみ、主にあつてわれらはひとつ。  
(くりかえし)  
マラナ・タ、マラナ・タ、主のみくにがきますように。  
マラナ・タ、マラナ・タ、主のみくにがきますように。

- 1 主の食卓を囲み、いのちのパンをいただき、  
救いのさかすきをのみ、主にあつてわれらはひとつ。  
マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。  
マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。

## 賛美 520 「真実に清く生きたい」

I would be true  
詞：Howard A. Walter, 1883-1918

PEEK  
曲：Joseph Y. Peek, 1843-1911



1 しんじつにきよく生きたい、せいじつ  
2 まことのともとなりたい、ともな  
3 けんきよにすすみゆきたい、よわさ  
なきものために、おそれずつ  
ひとのともと、あたえてむ  
をじかくしつづ。ゆく手はな  
よくありたい、なすべきわざのため  
くいもとめぬまこと、あいのひと  
おとおくてもこころをたかくあ  
げよう。  
に。なすべきわざのために。  
と。まことのあいのひとと。  
よう。こころをたかくあげよう。

- 1 真実に 清く生きたい、  
誠実な 友のために。  
恐れず 強くありたい、  
なすべきわざのために。  
なすべきわざのために。
- 2 まことの 友となりたい、  
友なき 人の友と、  
与えて 報い求めぬ  
まことの愛のひとと。  
まことの愛のひとと。
- 3 謙虚に 進みゆきたい、  
弱さを 自覚しつづ。  
ゆく手は なお遠くても  
心を高くあげよう。  
心を高くあげよう。

## 派遣

司式者 主は言われます。  
「わたしは誰を遣わすべきか。」  
会衆 わたしがここにおります。  
わたしを遣わして下さい。

## 祝祷

## アーメン



アーメン アーメン アーメン

## 後奏 「今こそこにあふれる主の平和(82)」 (C.W.オレ)

司式 福原 之織  
説教 向井 希夫牧師  
奏楽 玉理 照子  
助餐 袁 紅、塩冶 みはる、  
要田 悟史、福原 之織

※お立ちになるのが困難な方は、  
座ったままで礼拝をお守り下さい。  
※讃美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。